

連載：原点

新たな一步を踏み出して

幕張総合高等学校 尾形 一眞

教員としての生活が始まり、早くも5か月が経とうとしています。今年の4月より幕張総合高等学校に勤務することが決まり、新たな職場での日々が始まりました。初めての経験で、戸惑うことが多い中、多くの先生方に支えられながら少しずつ業務に慣れてきました。特に授業に関しては、指導教員の先生から多くの助言をいただきながら、毎日試行錯誤しています。教員として授業を進める中で、私が感じている大きな課題の一つは、生徒が理解に苦しむポイントを見極める力が不足していることです。生徒がどこで躓くのか、その原因を正確に把握することができず、重要な部分を十分に説明せずに進んでしまうことがあります。反対に、比較的容易に理解できる部分に時間をかけすぎてしまうこともあり、授業の進行が計画通りにいかないことがしばしばあります。

また、授業前にしっかりと計画を立てたつもりでも、予定通りに進めることができないこともよくあります。特に、生徒から予想外の質問が出たり、授業中に思わぬトラブルが発生したりすると、対応に困ってしまうことが少なくありません。まだまだ経験不足であることを痛感する毎日ですが、だからこそ、今は学ぶことが多い時期だと感じています。

この5か月間の勤務を通じて、私は心から生徒と先生方に恵まれていると感じています。幕張総合高校は非常に温かい雰囲気があり、私が困った時には先輩の先生方がいつも親身になってアドバイスをくださいます。先輩方は非常に忙しい中でも、私の些細な疑問にも丁寧に答えてくださり、その支えがあるからこそ、私は少しずつ成長していると感じることができます。

教員になってから5か月間しか経っておりませんが、自分が教える立場であると同時に、常に学び続けなければならないということを改めて実感する日々です。特に授業の進行や生徒の理解度を見極める力は、これからも積極的に磨いていかなければならないと強く感じています。また、生徒たちがどのような考えを持ち、何に興味を持っているのかをもっと深く理解するためには、日々のコミュニケーションが重要だと感じています。生徒一人ひとりの個性を尊重しながら、彼らが自信を持って学びに取り組める環境を提供できるよう、これからも努力していきたいと思います。

この5か月間で学んだことを糧に、今後も教員として成長し続けるために努力を惜しまず、より良い授業を提供できるよう努めてまいります。これからも様々な課題や壁にぶつかることがあると思いますが、先輩方の支えと生徒たちの笑顔を糧に、一步一步成長していきたいと思っています。